



なぜ血液検査・血圧検査が歯科で必要？

からだの状態把握が必要です！

歯科医療の進歩に伴い、近年歯科では、痛くなく怖くない治療が受けられるようになりました。しかし治療の際に緊張する方は今でも多いと思います。こうした方が心臓病や高血圧症を患っていると、緊張や、麻酔薬の影響によるドキドキが、ときに偶発症につながる可能性があります。

また、糖尿病があると傷が治りが悪い傾向があることから、抜歯や、歯周病治療の際に行う歯ぐきの切開後の治癒経過などが遅れることがあります。

病気や内服している薬の影響で、抜歯後や切開後に血が止まりにくい方もいます。

このように、からだの状態が歯科治療に影響を与える恐れがある場合、安全な歯科治療をご提供するため、患者様の血液検査の結果が必要になります。

実際には、患者様のかかりつけの医師の評価も必要になってきます。そのため歯科医師からかかりつけ医師へ、からだの状態についての問い合わせをすることもあります。かかりつけの医師に『病状照会』の手紙を持っていくことがあるのはそのためです。ご面倒かもしれませんが、安全な歯科治療をご提供するためにとても重要なことですので、ご理解ご協力をお願いいたします。

血液検査の結果をお持ち下さい

血液検査にはさまざまな種類の項目がありますが、患者様の病気の症状に合わせて検査項目が選ばれて検査されており、からだの状態についての重要な情報になります。異常な値だけでなく、問題がないとされた検査結果も重要な情報です。かかりつけの医療機関で行った血液検査の結果を歯科医療にお持ち下さい。

血圧測定を受けて下さい

血圧測定は最も基本的な診察の一つです。ストレスが加わったり、時には痛みを伴う歯科治療では、患者様の血圧が上昇しやすくなります。治療前の血圧の状態、治療中な血圧の変動の様子は、偶発症を防止し、安全な治療をご提供するための重要な情報となります。

歯科でも血圧を測ります

血圧のコントロールがされていない高血圧症の患者様は、歯科治療中に血圧が大きく変動することが知られています。歯科治療を受ける緊張で血圧が高くなり過ぎ、頭の血管に問題が起きてしまっは大変です。また処置に対する不安や緊張から、血圧が下がりすぎることもあります。血圧が下がり血液の循環が悪くなると、ときには命の危険につながることもあります。ストレスがかかりやすい歯科治療では、治療前の血圧や治療中の血圧が安定しない患者様の場合、血圧の治療を優先していただき、緊急性のある場合は全身管理の設備の整った総合病院や大学病院の歯科をご紹介します。